

構造設計・構造計算の専門学習講座

「構造塾」マスターコース

(個人・企業コンサル)

「構造塾」マスターコースとは

地震大国「日本」、全国各地で地震が頻繁に発生し、
大地震が起こるたびに、甚大な被害が出ています

特に、木造住宅の倒壊被害は多く、法律が改正され耐震性能が高くなるよう設定されても、
構造計算を行うことを設計者及び施主が意識していなければ
耐震性能の高い木造住宅は生まれてきません・・・

「日本中の木造住宅が地震で倒壊しないことを目指す！」

この理念の元、「**構造塾**」では、構造の基本から応用まで幅広く伝えてきました

次は、より高いレベルの構造設計・構造計算を行える技術者が必要となります
構造計算は、国民の生命および財産を守ります

そして、構造計算技術は、他社との差別化・売り上げ向上の強みにもなります！

「構造塾」マスターコースは、
構造設計・構造計算技術者を育成するプログラムです
ぜひとも、ご活用ください

「構造塾」からのメッセージ

「構造塾」マスターコースは、2024年まで「構造技術者育成コンサルティング（グループコンサル）」として開催していた、木造住宅の構造設計に特化したカリキュラムを更に充実させたコンサルティング講座です。

概要は以下となります。

- ・ご都合に合わせてオンデマンドで視聴可能な講座解説動画による学習を基本とします
- ・加えて毎週、月曜日と火曜日に（不定期で水曜日も）オンライン勉強会をリアルタイムで、グレー本解説や質疑応答解説、構造計算ソフトの入力講習などを開催します（参加できなかった回は、後日公開のアーカイブ動画にて、すべて内容を確認できます）
- ・新横浜事務所で開催するオープンデスク（対面学習）にも優先的に参加可能です
- ・Facebook会員専用ページでの実務上の質疑応答や会員同士の交流ができます

ご加入の最低期間は12か月と設定しています。

構造計算のスキルを向上するには、日々の実務経験や構造計算の繰り返し、構造に関する知識向上や最新情報入手など、継続的なアップデートが欠かせないからです。

私たちは**単なる計算ソフトのオペレーターではなく、本物の構造技術者としてのスキルを身につけてほしい**と願っています。構造計算ソフトを扱えるだけでは、構造設計における重要な判断をすることはできません。

（例えば、NGが出た場合には、いかに構造的に安全で妥当な処理を行い、設計を適切に修正するかが求められます。さらに計画の初期段階で構造的に合理的な設計を行うことは、最後の構造計算や実施設計～施工をスムーズにし、安全性だけでなく経済性の向上にもつながります）

常に知識や情報をアップデートし、スキル向上しながら、お互いに助け合い、成長できる場としてご活用ください。（修了後も継続して参加されている方々は、「構造の相談窓口」としても、日々の実務に活かしておられます）

「構造塾」マスターコースの受講対象者

■ 対象者

・工務店、ビルダーなど

構造設計・構造計算を強みとし、消費者に生命と財産を守れる木造住宅を提供できます

・設計事務所、建材流通店、プレカット業者など

構造計算による業務の拡張を図ることができます

・地盤業者

地盤と上部構造の整合設計を行うことができます

■ 受講要件

・建築士（一級建築士・二級建築士・木造建築士）

自身の構造計算として、構造計算業務を行えます

・構造計算技術者をを目指す意欲のあるもの（資格の有無問わず）

ただし業務上は建築士による法適合判定を前提とします

■ その他

・上記対象者に当てはまらず不明な場合

（株）M's構造設計まで、ご遠慮なく、お問い合わせください

<https://www.ms-structure.co.jp/contact/>

「構造塾」マスターコースの学習メニュー

■ 構造設計・構造計算（許容応力度計算）をオンデマンドで学ぶ

以下のすべてをFacebookの会員専用ページで公開しています

- ・グレー本（正式名称：「木造軸組工法住宅の許容応力度設計（2017年版）」）基本解説講座の動画
- ・会員ページにUPされた質疑投稿へのリアル応答解説勉強会の動画（2020年実施分～）
- ・その他、構造計算ソフト入力解説動画（アーキトレンド、ホームズ君）や外部講師による特別講座の動画
- ・講座内容をまとめた各種マニュアル（「構造計画ルール」を活用した間取り作成、構造計算、耐震診断など）のPDFデータ

■ 構造設計・構造計算（許容応力度計算）をリアルタイムで学ぶ

以下のオンライン講座を基本として毎週開催しています（いずれもZoom使用、その場での質疑応答が可能）

※年間の開催日は「住宅イベントカレンダー」でご確認ください！（諸事情により変更の場合もあります）

■ マスターコースA（月曜講座）毎週月曜日 14:45～15:45

「構造計画ルール」の実践講座を中心に、構造の安全性に加えて構造安定と経済設計を両立する合理的な設計手法を学びます

■ マスターコースB（火曜講座）毎週火曜日 10:00～12:00

丁寧に繰り返す「グレー本解説」、会員ページに寄せられた実務上の質疑投稿にリアル解説で回答する毎週勉強会等を中心に開催

■ マスターコースC（水曜講座）不定期の水曜日 10:00～12:00 または 13:00～15:00

構造計算ソフト入力の実践講座を中心に（アーキトレンド、ホームズ君、耐震診断ソフトなど）

■ 参加特典

- ・Facebook会員専用ページへのご招待
クローズな会員ページ内で、いつでも自由に質疑投稿が可能、全国から参加している会員間の情報共有や交流も可能
- ・オープンデスクへの参加（要予約。基本として（株）M's構造設計の新横浜事務所にて開催）
（購入前でも）構造計算ソフトの体験学習や、実際業務の対面での相談などが可能
- ・「構造塾」基本コースのカリキュラムもすべて受講可能（別途の追加費用は不要）

<https://mega.nz/file/INIANJYQ#PWI-AX0FVjcUA0rk9hr55MpyJe4K0eDdt1nNtyUBE10>

「構造塾」マスターコースのお申し込みについて

■ 受講システムと費用

- 本講座へのご入会は個人、法人の所属を問わず**1名様**単位のご入会となります

価格：33,000円/月（税込）

入会期間：最低12カ月（繰り返し学習も含めた実用化に必要な期間として定めています）

※基本としてクレジット決済です（ただしお支払い方法は各種対応が可能ですので事務局にご相談ください）

※入会期間（12カ月）終了後は、お申し出なき限り入会が継続いたします（継続は必須ではありません）

※その他、期間終了後のコースとしては「顧問契約」という形も可能です（主に法人単位）

■ お申し込み

- 下記フォームから送信いただければ、折り返し、弊社事務局よりお手続きのご案内メールを差し上げます

「構造塾」マスターコース 入会お申込フォーム

<https://docs.google.com/forms/d/11rq0kbFAvf3W8z4VTgzZDRUVLTUP5LUI2egWeGamalQ/edit>

- ご入会お申込み受付期間：**毎月1日～10日**

- 学習開始：**お申込み月の翌月1日より**

例1：6/10までのお申込み→7/1より講座参加

例2：6/11以降は7/1～7/10に受付→8/1より講座参加

※各種講座はすべて録画してアーカイブで公開しておりますので、いつご入会いただいても同じ内容を学習いただけます

※お申込みから受講開始までは、受講費お支払い手続きや会員番号発行、会員向けメルマガ発行など、各種情報をお伝えいたします

※毎月10日の締め切り後は翌月までお待ちいただくこととなり、大変恐縮ですが、円滑な運営の為、ご理解のほどお願い申し上げます

■ お試し参加

ご入会前でも、オンライン講座への「お試し参加」が可能です。ご希望の回を下記までご連絡ください

<https://www.ms-structure.co.jp/contact/>

「構造塾」マスターコースの講師・スタッフ

■ 佐藤 実（講師）

株式会社 M's構造設計 代表取締役/「構造塾」塾長

一級建築士、構造設計一級建築士、農学修士ほか

1968年新潟県生まれ。1990年東北工業大学工学部建築学科卒業

(株)佐藤住建を経て、2006年(株)M's構造設計設立、現在に至る

2010年東京大学大学院修了。2010年「構造塾」を設立、木質構造に関するセミナー、

構造計算技術者育成講座を開催、構造計算サポート業務を行っている

2019年は全国28会場で開催、2020年現在はオンライン講座視聴アカウント1,500人以上

著書に「最高に楽しい木構造入門」、「楽しく分かる！木構造入門」、「ぜんぶ絵でわかる6 建物が壊れない仕組み」（エクスナレッジ）など



□ 堤 太郎（企画・運営・サポート）

株式会社 M's構造設計 「省エネ塾」主宰

一級建築士、CASBEE戸建評価員、BIS ほか 1966年奈良県生まれ。1990年摂南大学工学部建築学科卒業

関西商圏のビルダーに27年勤務、主に2×4工法の戸建住宅設計（竣工500棟）や開発に携わった後、2018年にM's構造設計に参加

「構造塾」講師や「省エネ塾」主宰、各種セミナー、コンサルタント等を行っている YKK APのプロ向けサイト「A-PLUG」にて連載中

□ 土居 守（構造計算ソフト入力講座担当）

株式会社 M's構造設計

1986年広島県生まれ。2008年日本建築専門学校卒業

広島県のビルダーに3年、ハウスメーカーに8年勤務し、主に在来軸組工法の戸建住宅設計に携わる

2020年にM's構造設計に参加。構造計算業務や構造計算ソフトの操作説明業務等を行っている

□ 高中 大輔（構造計算ソフト入力講座担当）

株式会社M's構造設計

一級建築士、建築物環境衛生管理技術者、既存住宅状況調査技術者ほか

1983年茨城県生まれ。2006年東洋大学工学部建築学科卒業。防音・電磁波シールド会社、ビル管理会社、工務店に勤務

2022年に「構造塾」コンサルティング会員を経て構造計算業務を本格的に開始、2024年にM's構造設計に参加

コンサルティング修了者のお声（1）

◆O様（プレカット業・長野県）

Q. 「受講してとても良かった」の理由を簡単にお聞かせください

A. 繰り返しの学習となる事で、わかったつもり、勘違いなどが自分で発見できました。
実務上の疑問なども取り上げられたため、より実践的な解釈が出来たと思います。
また、個別（企業）コンサルの時には味わえなかった、複数人の仲間が出来たことです。

Q. 受講されて実務がどう変わったか、どう活かしたかをお聞かせください

A. プレカットCADオペとして実務にあたってきましたが、構造を知らずに納まりのみを考えて業務をしてきました。伏図を加工できるように作り梁成は簡易チェックソフトでなんとなく、壁量も設定の重要性も理解せずです。そこから、構造計算室を立ち上げると言う事で、構造の勉強、コンサルを受講しました。結果、無事全く経験は無いですが新部署立ち上げとなりました。業務内容が大きく変わり、納まりだけでなく計算、構造のルールを踏まえた打合せや説明が増えています。
まだ周囲の工務店様などには敬遠されがちですが、相談していただける工務店様も増えました。社内でも勉強会を始め、少しずつ、一部ですが構造の重要性を理解し考えてもらえています。社内の知識が増えることが安全な住宅づくりの第一歩だと思っています。まだまだこれからな部分もありますが着実に前に進めていると思っています。

コンサルティング修了者のお声（2）

◆K様（総合建設業・福島県）

Q. 「受講してとても良かった」の理由を簡単にお聞かせください

A. 「構造塾」の一般講座（基本コース）は比較的基礎的なことが多かったですが、もっとその先まで講義で説明していただけて、実務に活かせることができました。

自社物件を、実際に構造計算ソフトで計算を初めて、計算が行き詰った時や疑問なことや不安なことにも答えていただけて、**現在は業務として行う事が出来ています。**

また、数回ではありましたが、同じ志を持つ皆さんと懇親会などで情報交換することもでき交流を深めることもできました。今でも個人的に相談にのってもらったりしております。

Q. 受講されて実務がどう変わったか、どう活かせたかをお聞かせください

A. 構造計算ソフト（ホームズ君 構造 E X）を購入して、自社物件は100%構造計算を目標に始めましたが、わからないことだらけでした。**ソフト会社のサポートは基本的には入力の方法についてしか教えてくれないので、悩むことが多かったですが、グループコンサルで学び、また実際の物件での疑問点についても解説していただけたので、一般的な住宅であれば構造計算できるようになっています。最近では、お客様のどうしてもこうしたい、でも、構造的に、、、という時でも、なるべくお客様の希望に近いものを提供できるようになってきたと思います。**

100%構造計算を目標に始めたころは、自分の周りにそこまでやっている人は居なく、行き詰った時に相談した構造設計事務所の方には、「木造住宅で何でそこまでやるの?そんなのうちではやらないよ。」と冷たく言われたこともありました。

今はある程度自分でできていますし、少数ではありますが**日本各地の志を同じにする方々と知り合う事が出来て、皆から刺激を受けて、自分もまだまだもっと色々な事をやらなければならないと思っています。**

コンサルティング修了者のお声（3）

◆S様（工務店・東京都）

Q. 「受講してとても良かった」の理由を簡単にお聞かせください

- A. ・先生の人柄によるところが多いですが構造に対する興味が非常に大きくなりました。
・いろいろな地域・業種の方と同じ目標に向かって学べたことはとても参考になりやる気が出ました。
・直接塾長に相談・質問できるのはぜひたくでとても身につくものでした。

Q. 受講されて実務がどう変わったか、どう活かせたかをお聞かせください

- A. ・許容応力度計算による検討を全棟で行うようになりました。（今後はすべて耐震等級3を取得）
・業務で調べ物をするときすぐにグレー本を取るようになりました。
・木造の許容応力度の前提条件などをまなぶことでリフォームにも応用できるようになりました。

コンサルティング修了者のお声（４）

◆T様（設計事務所・神奈川県）

Q. 「受講してとても良かった」の理由を簡単にお聞かせください

A. 構造計算、構造設計の考え方の基本を学ぶことで、敬遠しがちな内容を理解できたことで構造計算業務を内製化する事が出来た事と、木造住宅の構造について同じ思いの同業者とのネットワークができたこと

Q. 受講されて実務がどう変わったか、どう活かせたかをお聞かせください

A. 自社物件では木造住宅の構造計画を考えたうえでの意匠設計を意識するようになったこと、ビルダー物件では構造計画を検討していないことが明らかな図面が多いことに気が付くようになった。

コンサルティング修了者のお声（5）

◆N様（建設業・香川県）

Q. 「受講して良かった」の理由を簡単にお聞かせください

A. 構造計画は「構造塾」を知る以前から積極的に学び実務に活かしてきましたが、社内でより構造計画の重要性を理解してもらうには自分自身がさらにステップアップし実践できるようになりたいと受講を決めました。自社では許容応力度計算に取り組めておらず、必要な場合は外注しています。現在は、品確法耐震等級3取得の実物件で許容応力度計算ソフトのマスター設定をしながら入力して、NGがでる箇所を確認、なぜNGがでるのか、消えるのか、消えただけどこの設定でいいのか…などを試しています。「わからない所がわからない」「質問のしかたがわからない」という状態ですが、グループコンサルに参加してメンバーの方々の声を直接聞ける機会があるからこそあきらめずに継続できていると思います。自分自身の理解度・力量不足で問題解決に至っていないため「Q1:①とても良かった」といえないのが残念ですが、少しでも良かったが増やせるようにチャレンジしていきます

Q. 受講されて実務がどう変わったか、どう活かせたかをお聞かせください

A. 社内で「構造計画」は意匠設計時に考えるべき構造の基本であることや、耐震等級3の必要性を長年にわたり推進してきましたが、なかなか理解してもらえず個人的に対応できる物件でしか実現できない状況が続いていました。地震の後も住み続けられる家を全てのお客様に提供したくて「構造塾」で学んだことを営業向け・設計向けに勉強会を開催したり、プラン作成時の構造相談は「Welcom」を心掛けたり、単独でグループコンサルに参加した意気込み(!?)が社内に伝わったのかどうか理由は不明ですが、昨年の標準仕様改訂で全タイプ耐震等級3が採用されました（世間の動向が後押ししてくれたこともあります）営業マンの耐震性に対する意識も高まり「許容応力度計算って何ですか」の質問が出るようになりました。すごい進歩です。2015年から基本プラン段階での伏図作成、架構や壁量検討を提示してからの図面承認、実施設計図作成の流れをすすめてきましたが設計者の人財育成はまだです。現場の「経験と勘」と設計者の「計算結果」による対立をどう解消していくか、数字合わせではない耐震性に優れた構造をどう実現していくかが今後の課題です。学べば学ぶほど、自分が何も知らなかった事に気づきます。これからも学び続け、社内・協力業者全体でお客様のために良い仕事をしていきたいと思っています。